

西条

OCTOBER
2008

No.379

10



336A地区
2R-4Z

Saijo Lions Club



2008~2009年度▶

国際会長プログラム

-We Serve- われわれは奉仕する キーワード：奉仕で奇跡を (Miracles Through Service)

336A地区ガバナーズスローガン

叡智と勇氣・誇りをもってウィサーブ キーワード：和の心

クラブ会長スローガン

未来のために WE SERVE キーワード：健康な心

早朝清掃奉仕実施報告

環境保全・保健福祉委員会
山本新一郎



10月7日(火曜日)。今年も、早朝清掃奉仕を実施致しました。昨夜来の雨の影響なのか、開始前はどんよりと薄暗く、曇っていました。が、スタートの午前6時になると空も明るくなり、清々しい、気持ちの良い1日の始まりとなりました。今年も、清掃場所は新町川水系です。

透きとおった美しい川のの流れを見ながらの清掃は、大変、心安らく気持ちの良いものでした。また、いつも思うのですが、この年に一度の早朝清掃奉仕は、本格的な秋の訪れを肌に直に感じさせるものでした。最後に参加して頂きましたメンバーの皆さま、早朝より大変ご苦労様でした。



2 リジョン親善ゴルフ大会 報告



ゴルフ部 仁後真貴雄



「2 リジョンゴルフ大会」が2008年10月25日(土) タカガワ新伊予ゴルフクラブにおいて開催されました。曇り空ではありましたが、ゴルフ日和!

2 リジョン内より28組、100名近いメンバーが日頃の成果を発揮し、上位入賞を目指し奮闘。中には悪戦苦闘・・・

我が西条ライオンズクラブよりは、少数精鋭、選りすぐりの6名での参戦でありましたが、団体戦は9位に終わりました。このリベンジは、来月行われる「2 リジョンスポーツ大会」できっと・・・!

ナイスフォームなふたり





台湾駆けある記

L. 越智英明



眼下に台北の町が見え始めた。至る所に池らしきものが見える。あれは養殖地だろうか。私にとって近くて遠い存在だった、台湾の旅が今はじまる。時差1時間、気温32、少し暑い、南国特有のカラッとした気候だ。



台北到着後、最寄りの桃園駅から、のぞみ改良型の新幹線で約2時間の台中に向かう。揺れも少なく静かで速い。

着後、巨大な布袋様のある宝覺寺や、中山公園を散策した。夕食は初めての台湾料理、さっぱりとした味付けで我々に向いている。



2日目、台湾八景の一つ、神秘の湖といわれる日月潭へ。途中の景色は九九峰と云われるだけあり、中国の水墨画にある山によく似ていた。日月潭は、湖面の色の变化と共に、夕日の美しさが格別でここを訪れる画家も少なくないという。湖岸にある玄奘寺、文武廟など観光して、来年完成という建物に寄進し、台南に向かう。途中に、台湾バナナの産地、集集(チーチー)や、ウーロン茶で有名な凍頂山の凍頂茶をいただいた。どちらも好吃(ハウツー)であった。景色を見ながらガイドより日本人の「ヤスダヨウイチ」なる人物の話聞いた。何でも彼は、かんがい用水の設計でこの地に多大な恩恵をもたらしたとして、今も敬愛されているという。



台南市では、赤嵌楼、台南大天后宮など、ケバケバした寺院をまわった。今回の旅行を通じて何れの寺院でも老人はもとより、若い女性の姿をよく見かけた。この国の人々の信仰心の高さを物語っていると感じた。ガイドによると、風水や占いなども盛んだとのこと。

台南より約40分、高雄に着いた。この名産はサンゴとカラスミで、サンゴは絶滅の危機にありこの先、高値になることは間違いない。一方、カラスミは昔から我が国でも生産されていて、酒肴の一品として珍重されていることは周知の通りだ。

今回、リンゴの薄切りにはさんで食べる方法を教えてもらった。私は大根の薄切りにはさんで食べることしか知らなかったから、近く試食してみようと思っている。夕食後、寿山公園から高雄の夜景を鑑賞したが、公園は若いカップル達の恰好の場所であった。



3日目、ホテルにて朝食の美味しいバイキングを食した後、蓮池潭、龍虎塔を観光した。龍虎塔は龍の口から入り、虎の口へ抜けることによって過去の悪行が帳消しになるそうだ。間違っても反対から入らないようにと云われた。



この後、空路約1時間で花蓮へと飛んだ。花蓮の町はその昔、日本が統治し、大理石と翡翠の原産地として名高い、空港のターミナルなど、流石に大理石をふんだんに使用している。人口約40万人でアミ族が大半を占めている。



毎年7 - 8月の1ヶ月間、盛大に祭りが開催されるという。素朴な花蓮の郷土料理をおいしくいただいた後、大理石の絶景「タロコ峡谷」へと向かう。ここでは徒歩での観光だか、切り立った高い大理石の断崖には圧倒された。

帰路、大理石の工場を見学させてもらい、日本生まれという経営者に会った。彼は、「日本への輸出は好調で、もしあなたが入用ならFAXしていただけたら完全梱包でいつでも送りますよ」という向こうにとって大変都合の良い返事ばかりだった。



さて、夕食までには少し時間があるので、ガイドのすすめで、地元アミ族の村へ、民族舞踊の鑑賞に出かけた。大理石を敷き詰めた、円形の舞台の最前列に席をとり次々と、初めて聞く音色や踊りの中でそろそろクライマックスかという時間になった時、突然数人の踊り子たちによって中央に引っ張り出された。あれよという間に手早く民族衣装を着せられ、ひざまずかされた。隣には美しい女性が同様に座り、中央に四角い穴のあいた棒状の容器を持たされた。その時、うしろから私のお尻目かけて、ヤシの葉の様なもので思いっきり3~4回ひっぱたかれた。そして、容器の中に液体を並々と注ぎ、「呑んで」と云われた。これは、カタメの盃だと思った。

一息に呑む・・・すきっ腹なのであつくなった。その後、結婚の儀式も進行し、花嫁を背負子に後ろ向きに乗せて、何回も何回も観客の前を回らされた。やがて、一般客も交じり、踊りに興じたその間、記念写真を撮り、大理石の額入りを渡され、「ありがとう」と言うと、「ハイ、400元」・・・「えっ！お金とるの?」と思わず言った次第。出来上がった写真は、心なしか顔がひきつっていた。

私の家内が、目の前でじっと見ていたせいかもしれない。私たちの結婚記念日は10月21日だが、私にとってこの日が『もうひとつの記念日』となったわけである。やんやの喝采をあびながら、アミ族の村を後にした。夕食はホテルのレストランで、この日は実に結婚式が多く、町中至る所でリボンを付け、爆竹を鳴らしながら走る車の行列を見かけた。ホテル内でも、2組のパーティーがあり、先のアミ族の女性たちもお手伝いに来ていて実に楽しい夕食となった。



4日目。今日は花蓮の駅から特急列車にて、台北に向かう。約3時間の行程だが、地図を広げ外の景色を見ながら、到着駅と時間を記入しながらの列車の旅は楽しかった。日本統治時代の名残りが、日本と同名の駅や町があった。正午に到着の後、昼食は有名店にて小籠包等を食した。好吃(ハウツー)だ。愈々、この旅1番の目的、故宮博物院へと向かう。数ヶ月くらい前まで改装の為休館していたとの事で、すっかりきれいになった館内は、広く、大きく、収蔵品の多さは云うに及ばず、うわさ通りだ。ガイドにあらかじめ、目的の見所を言っておいたので、効率よく見てまわることができた。約2時間くらい鑑賞した。夕食後、あらゆる雑貨の出店が所狭しとひしめく士林夜市を散策した。人の多さには驚いた。懐中物御用心である。ガイドのすすめでTVなどで話題の「足裏マッサージ」の店へ連れて行ってもらった。とても気持ちよくて、お陰で翌朝は心身共に壮快であった。

翌日は帰国の旅仕度を早々に済ませ、少し早い出発であったが、4泊5日の旅行も短く感じた。

今回の旅は2家族4名でガイドとドライバー付という、願ってもないことだった。少人数なので、手早く観光が出来た。

また、このガイド嬢は、日本の服飾短大卒で春秋には必ず来日するという親日家でもあり、更に驚いたことに、この仕事に就く4年前まで婦人服のデザイナーとして活躍しており、ライオネスクラブの会長まで務めた経歴の持ち主であった。スケジュールにない所まで案内してもらい、この上ない旅行が出来たと感謝しています。

こんな訳で何だか急に親近感を覚え、再会を約束して帰路につきました。今年と来年は『旅行台湾年』ということで、国を挙げて観光に力を入れている様ですので、皆様も是非お出かけください。

第21回国際平和ポスターコンテスト



平和は自分から



青少年指導委員会
委員長 野間賢次郎

西条市立神拝小学校5、6年生児童の夏休み期間に本年度も平和ポスターコンテストへの参加をお願いしました。平和ポスターの認知度も、毎年行っているせいでしょうか、年々高まり応募数も、うなぎのぼりに増えて来ていましたが、今年は少々減りまして15作品の応募となりました。

しかしながら、どの作品も力作揃い！10月第一例会の中で、クラブメンバーに選んでいただき「最優秀賞 1点」、「優秀賞 2点」、「委員長賞 1点」を選出しました。今後の予定ですが、クラブより3点をキャビネットへ送り、協力いただいた神拝小学校では後日、表彰式を行います。

【 最優秀賞作品 】



神拝小5年 和田滉平さん

【 優秀賞作品 】



神拝小5年 徳永志帆さん

【 優秀賞作品 】



神拝小6年 戸田茉優さん

【 委員長賞 】



神拝小5年 笹井颯馬さん

【 編集後記 】

実りの秋を迎え、西条祭りも無事終えることができました。今年の祭りは天候にも恵まれ、若人の中にはTシャツで屋台運行をしていた人も数多く見受けられました。温暖化なのかなあ？

今回の会報誌に掲載している【台湾旅行記】。越智さんからの投稿です。台湾での楽しそうな様子が目に浮かびました。どしどし、皆さんからの投稿をお待ちしております。 PR・広報委員長 近藤

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 寺川治美
幹事 盛實正人
PR・広報委員長 近藤基弘
編集委員 仁後真貴雄 ・ 越智英明
木下日出男 ・ 内田伸
福島讓 ・ 伊藤隆治
例会日 第1・第3火曜日
例会場 黒猫レストラン
印刷 西条ライオンズクラブ事務局